

実施学年	6年	実施教科 (科目)	社会科	実施日	H24.9.21
単元名	明治の国づくりを進めた人々(1/8)				
本時の内容 (項目)	明治時代に始まった学校				
本時の目標	江戸時代末期ごろの寺子屋の様子と、明治時代初めの小学校の2枚の絵図の様子を比べる活動を通して、江戸時代と明治時代の社会の変化に気付き、明治維新の改革の大きさに興味・関心をもち、今後の学習課題を考えることができる。				
授業場所	6年2組教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他()	ICTの主な 活用者	教師・児童		
活用するICT 機器	パソコン、電子黒板				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚の絵図を大きく提示することで、児童が興味関心をもって取り組めるようにする。 ・「教師の髪型、服装」「子どもの様子(表情や座り方)」「教室の様子」等、児童が様々な観点から比較して気付いたことを交流する際に、それらを指し示しながら分かりやすく説明することができる。 				
児童生徒の情報活用 能力を育てる指導場 面・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全体交流の場面では、児童が電子黒板の基本的な操作を身につけ、適切に活用できるようにする。 				
利用するコンテンツ 名・サイト等	無し				
参考にしたサ イト・文献 等	<ul style="list-style-type: none"> ・「ICTの利活用！授業ですぐに使える実践事例アイデア集」社団法人日本教育工学振興会 ・IT授業実践ナビ～授業でITを使ってみませんか。～ http://www.nier.go.jp/itnavi/index.html 				
事前の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の中心となる資料(江戸時代末期ごろの寺子屋の様子と、明治時代初めの小学校の2枚の絵図)を取り込んでおく。 ・寺子屋と明治時代の旧開智学校の写真を取り込んでおく。 ・寺子屋で使用された教科書と、明治時代の小学校で使用された教科書の写真を取り込んでおく。 				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>1. 江戸時代末期ごろの寺子屋の様子と、明治時代初めの小学校の2枚の絵図を見て感想をもち、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2枚の絵から、明治時代になって、子どもの暮らしがどのように変わったのか考えよう。</p> </div> <p>2. 予想をする。</p> <p>3. 資料から調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋は子どもがバラバラに座っているけれど、小学校はみんながきれいに並んでいる。 ・髪型がちょんまげでなくなっている。（散切り頭） ・先生の服装が、着物から洋服になっている。 ・建物の様子が西洋風になった。 ・教科書が白黒からカラーになっている。 <p>4. 電子黒板の2枚の絵を比較しながら、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料や建設も大変だった。反対する人もいた。 ・学校制度の改革だけでもこんな大仕事だったんだ。 <p>5. 分かったことをまとめ、今後の学習課題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>明治時代になって、学校制度などの大きな変化があったことが分かった。明治維新は、どのような人たちが、どんな思いで進めていったのかを考えたい。</p> </div>	<p>（※情報モラルの指導内容）</p>
<p>ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が電子黒板の基本的な操作を身につけ、適切に活用できるように留意する。 ・導入では、資料となる絵を示しながら、江戸時代と新しい時代である明治時代を思い起こさせて、学習課題につなげるようにする。 ・交流の場面では、各自が分かったことの根拠となる資料の部分を示しながら話し合わせるようにする。 	
<p>ICTを活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚の絵図に興味をもち、子どもの向き、服装、建物、教科書、髪型など、様々な観点から比較することができた。 ・児童がどこどこを比べたのかを指し示しながら説明することができ、それぞれの時代の何を比較しているのかが分かりやすくなった。 	
<p>ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が興味をもって取り組むことができた。しかし、ICTならではの授業ではなかった。いつも通り黒板に絵を提示することと、今回のように電子黒板に示すことと何が違ったのが明確でないままに終わってしまった。何がそのよさなのかを見極めて活用していかなければならないということが分かった。 	
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や活動において積極的にICTを取り入れた授業を考え、実践していきたい。しかし、ICTを活用する授業を計画する場合、ICTでなくてもよい場合や、ICTよりも、実物の提示や体験学習が大切な場合もある。活用する際にはなぜそれを使うのか、意図や目的を明確にして実践をしていきたい。 	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。